

こんにちは

会社訪問記

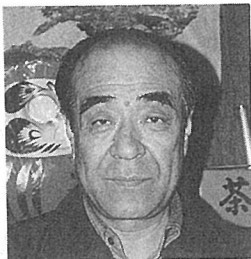
塩素系溶剤精製では抜群のキャリアを誇る
開発型企業。

株式会社アヅマ商会 (名古屋市南区)

毒性の非常に強い塩素系溶剤を取扱って22年、東海地区でも最先発組に属する株式会社アヅマ商会。有機溶剤精製加工では、業界にその名を知られる東社長にお話をお伺いしました。

——有機溶剤精製加工を掲げられていますが、現在、一番多い取扱い品目は何でしょうか。

『一番多く取扱っているのはトリクロールエチレンやテトラクロールエチレン等の塩素系ですね。』



東 社長
いま一番取扱いに神経を使うといわれているものがけっこう占めています。あとは廃水、汚泥、油泥です。例えば、1—1—1トリクロールエタンのなかに混入している塩素系の処理は、長年培った確かな精製技術がないとなかなか上手く処理できません。当社は処理溶剤の精確な成分分析を行った後、全て系統別に区分けし分離しています。——分離したあと、再精製処理されるわけですか。

『はい、当社で再精製し、製品として出荷しています。トリクロールエチレン、テトラクロールエチレン、1—1—1トリクロールエタン、塩化メチレン、フロン等いろいろ種類がありますから、必ず分別して。同じ成分の物は同じ蒸留施設に入れて蒸留する、という方法を採用しています。』

——有機溶剤処理ですから、資格取得が難しいでしょうね。

『有機汚泥や毒劇物の免許など、必要な資格は全て取得しています。』

——蒸留施設は何用のものがあるのですか。

『蒸留施設は7基ありますが、フロン専用が1基、ばっ気式蒸留機が3基、残り3基が油分分離



社名/株式会社アヅマ商会 所在地/名古屋市南区東又兵衛町1-55-1
代表者/東 誠一 設立/昭和54年 従業員/19名
TEL/052(6)2)6315(工場) モットー/「人生開拓」
保有車両/バキューム1台、箱車7台 営業種別/収集・運搬・中間処分
取扱い品目/汚水、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック

蒸留機です。これらの施設は全て私のオリジナルなんですよ。』

——社長がご自分で設計されたのですか。

『はい、特許も取っています。やはり、この仕事は他人よりも先にいろいろな技術を“発明”しなくては遅れをとってしまいますから。人がまねできることは誰にでもできることですからね。』

——では営業規模を教えてくださいませんか。

『東は神奈川県から長野、新潟、富山、石川、愛知、岐阜、三重、大阪そして九州までです。』

——就業時間は何時から何時までですか。

『朝8時半から午後6時が7時頃までです。やはり一日の仕事は、その日のうちに処理しないと翌日の仕事に差しつかえますし。』

——休日体制はどうなっていますか。

『隔週の週休2日制です。第2、第4土曜。当社は、リサイクルを通した工業薬品製造販売の形態をとっているからできることだと思いますね。』

——最後に、社長のストレス解消法を教えてくださいませんか。

『釣りに行くことですね。多い時は週2回ほど。事務所にいると運動不足になりますから、船に乗り立っているだけで足腰が強くなる。これは私の健康法の一つでもあるんですよ。』



蒸留施設